

取扱説明書

32 ビット・DAC ヘッドホンアンプ HP-A8



フォステクス製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書は、本機の基本的な使いかたについて説明しています。
本機を使い始めるときにお読みください。

< 注意 >

HP-A8 を Windows パソコンと USB 接続する場合、あらかじめパソコンに専用 USB Audio Class 2.0 ドライバーをインストールしておく必要があります。
専用ドライバーソフトウェアは、以下の弊社ウェブサイトよりダウンロードすることができます。<http://www.fostex.jp/products/HP-A8/download>
なお Mac をご使用の場合、ドライバーソフトウェアのダウンロードは必要ありません。

安全上のご注意

ここでは、本機をご使用になる上での安全に関する項目を記載してあります。あなたや他の人々へ与える危害や、財産などへの損害を未然に防止するため、ここに記載されている事項をお守りいただくものです。本機をご使用前には必ずお読みください。



警告

この表示の欄に記載されている事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄に記載されている事項を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示について

本書、および製品の表示には、あなたや他の人々へ与える危害や財産の損害を未然に防ぎ、本機を安全にご使用いただくために、警告または注意を促す絵表示を使用しています。これらの絵表示の意味をよく理解してから本書をお読みください。

絵表示の例

	△記号は注意しなければならない内容（警告も含みます）を示しています。具体的な注意事項は△の中や近くに絵や文章で示しています（左図の例は「感電注意」を示しています）。
	⊘記号は禁止内容（してはいけないこと）を示しています。具体的な禁止事項は⊘の中や近くに絵や文章で示しています（左図の例は「分解禁止」を示しています）。
	●記号は強制内容（必ずすること）を示しています。具体的な強制事項は●の中や近くに絵や文章で示しています（左図の例は「電源プラグをコンセントから抜く」を示しています）。



警告

異常が発生した場合



万一煙りが出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに機器本体の電源を切り、必ず内蔵電池を取り出す、または AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。異常がなくなったことを確認して販売店または当社営業窓口へ修理を依頼してください。お客様ご自身での修理は大変危険ですので、絶対にお止めください。



万一機器内部に水や異物が入った場合には、すぐに機器本体の電源を切り、必ず内蔵電池を取り出す、または AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社営業窓口へ修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。



AC アダプタ（または外部バッテリー）のケーブルが断線、芯線の露出など、ケーブルが傷んだ場合には、販売店または当社営業窓口へ修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。



万一、機器を落したり、カバーを破損した場合には、すぐに機器本体の電源を切り、必ず内蔵電池を取り出す、または AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社営業窓口へ修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

設置する場合



機器本体に直接水のかかる場所には置かないでください。火災・感電の原因になります。特に屋外での使用（雨天、降雪時、海岸、水辺）にはご注意ください。



製品本体の上に花瓶、コップや水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。何らかの理由で水がこぼれたり、中に金属物が入ったりした場合、火災・感電の原因になります。

使用する場合



本機の分解・修理・改造は絶対にしないでください。また、本体カバーは絶対外さないでください。火災・感電の原因になります。



AC アダプタの使用時に雷が鳴り出したら、AC アダプタの電源プラグには絶対手を触れないでください。感電の原因になります。



AC アダプタ（または外部バッテリー）や接続ケーブルの上に重いものを載せたり、本機の下敷きにならないようにしてください。火災・感電の原因になります。

もくじ

安全上のご注意.....	2
はじめに	5
本機の特長.....	5
付属品について	5
各部の名称.....	6
フロントパネル.....	6
リアパネル.....	7
リモコン.....	8
外部オーディオ機器を接続する	9
出力側機器を接続する	10
電源コードの接続	10
外部オーディオ機器を聴く.....	11
外部機器を聴く	11
SD カードのファイルを聴く	12
再生可能なファイル	12
SD カード内部の フォルダー構成例	12
SD カードを取り出す	13
リモコンでの操作	13
設定を変更する.....	14
設定項目一覧.....	14
困ったときは.....	17
本機をリセットする	17
本機をバージョンアップする.....	18
主な仕様	19

- ※Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ※Mac は、Apple Inc. の米国および他の国における登録商標です。
- ※その他の記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
- ※"DSD" は登録商標です。"DSD Disc Format" および  は、ソニー株式会社の商標です。
- ※ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.

はじめに

本機は高性能、高音質を追求した DAC ヘッドホンアンプです。パソコンやデジタルオーディオ機器で再生するデジタルオーディオ信号を高音質で聴くことができます。

■ 本機の特長

- ・ 高音質 32bit-DAC (AK4399) とオールディスクリット回路によるヘッドホンアンプ
- ・ 自社開発の USB ドライバーを採用し、サンプリング周波数最大 32bit/192kHz に対応。また、DSD 2.8 MHz (DoP/ASIO) にも対応
- ・ 高精度 TCXO (温度補償型水晶発振器) クロックによるアシンクロナス・モード (非同期モード) の採用により、パソコンなどのソース側のクロック精度に起因するジッターを排除
- ・ レベル調整用に高音質 / 高精度のオーディオ用電子ボリュームを採用
- ・ 大容量トroidal電源トランスを搭載
- ・ パソコン、デジタルオーディオ機器、アナログオーディオ機器からの入力が可能
- ・ SD (SDHC) カードドライブを内蔵し、SD カード上に記録した DSF ファイル、WAV ファイルおよび AIFF ファイルを直接再生可能。また SD カードを使って将来のバージョンアップに対応
- ・ アナログ出力端子 (RCA ピンジャック) を装備
- ・ マスタークロックは内蔵クロックと外部クロックの切替が可能 (SPDIF のみ)
- ・ 2 倍または 4 倍のアップサンプリングが可能 (アップサンプリングのオフも選択可能)
- ・ デジタルフィルター切換え機能を搭載
- ・ 24 段階のゲイン切換が可能なヘッドホン出力
- ・ ボリュームを経由しないダイレクト・アナログ出力が可能
- ・ 赤外線リモートコントローラーを標準装備
- ・ 有機 EL ディスプレイを搭載
- ・ 44.1K 系、48K 系の独立したクロックを装備

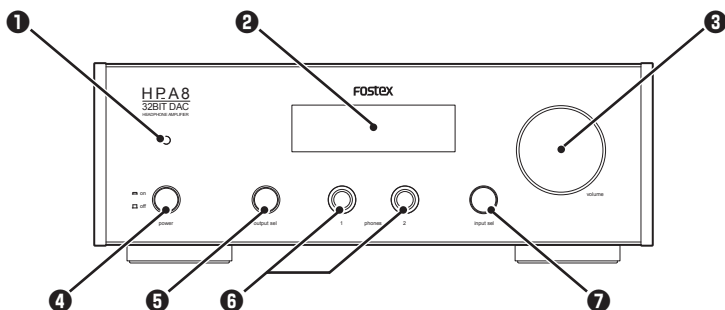
■ 付属品について

本機には以下の付属品が同梱されています。お買い上げ後、付属品が揃っていることを確認してください。

- ・ リモコン× 1
- ・ 電源コード× 1
- ・ 取扱説明書 (本書) × 1
- ・ 注意警告文× 1

各部の名称

■ フロントパネル



①電源インジケーター

電源が **on** のときに赤く点灯します。

②ディスプレイ

各種情報(⇒ 11、13ページ)やメニュー画面(⇒ 14ページ)が表示されます。

③ volume つまみ

ヘッドホン出力またはアナログ出力の音量を調整します。



ご 注 意

- ・「DIRECT」設定が「ON」の状態では、アナログ出力の音量は調節できません(⇒ 15ページ)。

④ power スイッチ

電源をオン／オフします。押し込んだ状態が **on** です。

⑤ output sel スイッチ

音声の出力先を切り替えます。押し込んだ状態でアナログ出力から音声が出力されます。

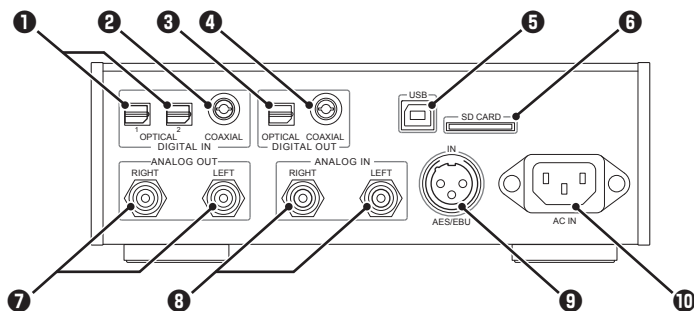
⑥ [phones] 端子 (1/2)

標準ステレオジャックのヘッドホンを接続します。同時に2台のヘッドホンを接続できます。

⑦ input sel つまみ／スイッチ

左右に回して音源(入力ソース)を切り替えます(⇒ 11ページ)。また、長押しでメニュー画面の表示、短押しでメニュー項目の決定を行います(⇒ 14ページ)。

■ リアパネル



① [DIGITAL IN - OPTICAL] 端子(1/2)
 入力ソースとして使うデジタルオーディオ再生機器を、角形オプティカルケーブルで接続します。同時に 2 台の機器を接続できます。

② [DIGITAL IN - COAXIAL] 端子
 入力ソースとして使うデジタルオーディオ再生機器を、同軸ケーブルで接続します。

③ [DIGITAL OUT - OPTICAL] 端子
 角形オプティカルケーブルで接続したデジタルオーディオ機器に、デジタルオーディオ信号を出力します。

④ [DIGITAL OUT - COAXIAL] 端子
 同軸ケーブルで接続したデジタルオーディオ機器に、デジタルオーディオ信号を出力します。

⑤ [USB] 端子
 入力ソースとして使うパソコン (Win/Mac) を、USB ケーブルで接続します。

⑥ [SD CARD] スロット
 WAV ファイル、AIFF ファイルまたは DSF ファイルをコピーした SD (SDHC) カードを、ラベル面を上にして差し込みます。

⑦ [ANALOG OUT] 端子 (RIGHT/LEFT)
 アンプなどの機器を RCA ピンジャックケーブルで接続します。

⑧ [ANALOG IN] 端子 (RIGHT/LEFT)
 入力ソースとして使うアナログオーディオ再生機器を、RCA ピンジャックケーブルで接続します。

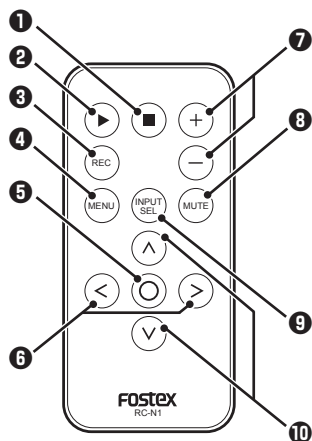
⑨ [AES/EBU] 端子 (IN)
 入力ソースとして使うデジタルオーディオ再生機器を、AES/EBU ケーブルで接続します。

⑩ [AC IN] 端子
 付属の電源ケーブルを接続します。

🔔 ご注意

- デジタルオーディオの入力／出力は、S/PDIF フォーマットで行われます。
- [DIGITAL OUT] 端子からは、「OUTPUT SEL」設定(⇒ 11、13 ページ)に関わらず、常に信号が出力されます。ただし、入力ソースに [ANALOG IN] (「RCA」) を選択している場合、または入力が DSD 信号の場合には出力されません。

■ リモコン



🔊 ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 電池は、「フォステクス電源使用製品に関する安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 使用済みの電池は、各自治体の指示に従って廃棄してください。

1 ■キー

入力ソースがSD (SDHC) カード(「SD」) のとき、押すと再生が停止します。

2 ▶キー

入力ソースがSD (SDHC) カード(「SD」) のとき、選んだファイルを再生します。

3 REC キー

使用しません。

4 MENU キー

メニュー画面を表示します。もう一度押すとメニュー画面を終了し、通常画面に戻ります。

5 ○キー

SD カードのマウントを解除します。メニュー画面では、表示中のメニュー項目を選びます。

6 </>キー

入力ソースがSD (SDHC) カード(「SD」) のとき、手前/次のファイルを選択します。
メニュー画面では、メニュー項目や設定内容を選びます。

7 + / - キー

ヘッドホン出力またはアナログ出力の音量を調整します。本体の **volume** つまみと同じ働きです。

8 MUTE キー

ヘッドホンまたはアナログ出力の音声を一時的に消音します。もう一度押すと元の音量に戻ります。

🔊 ご注意

- 消音中に音量を変えると、消音は解除されます。
- 「DIRECT」設定が「ON」の状態では、アナログ出力の音声は消音されません (⇒ 14 ページ)。

9 INPUT SEL キー

音源(入力ソース)を切り替えます (⇒ 11 ページ)。本体の **input sel** つまみと同じ働きです。

10 ▲ / ▼ キー

入力ソースがSD (SDHC) カード(「SD」) のとき、手前/次のフォルダーを選択します。

外部オーディオ機器を接続する

お使いになる機器を、角形オプティカル端子 [OPTICAL 1]/[OPTICAL 2]、同軸端子 [COAXIAL] または AES/EBU 端子 [AES/EBU] のデジタルオーディオ入力端子に接続します。

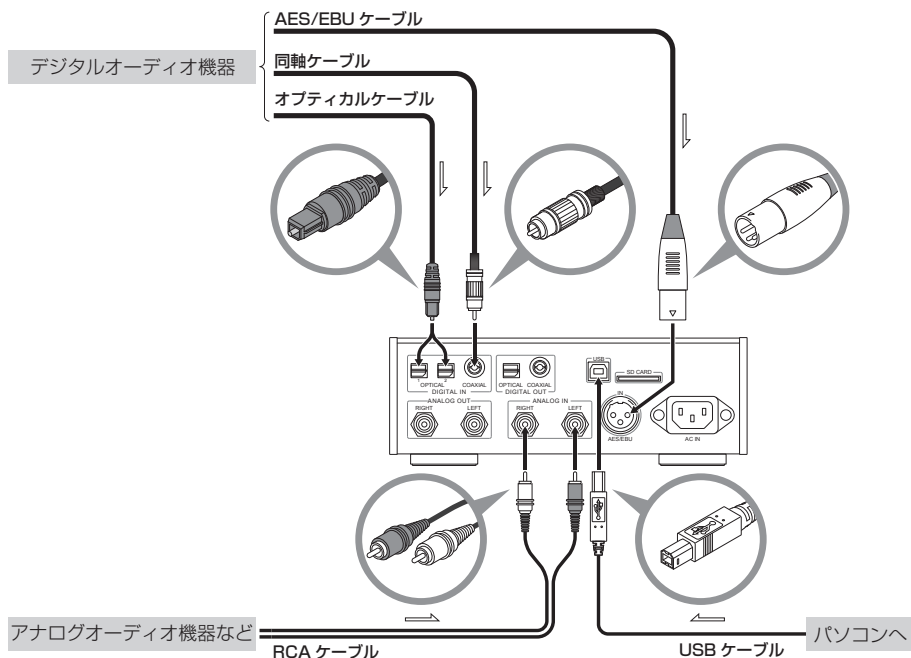
アナログオーディオ機器は、アナログ入力端子 [ANALOG IN] に接続します。

パソコン上の音楽ファイルを聴くには、パソコンを USB 端子 [USB] に接続します。

お聴きになる音声を切り換えるには、フロントパネルの **input sel** つまみを回します。

ご注意

- 全ての接続が完了するまで、電源コードは接続しないでください。



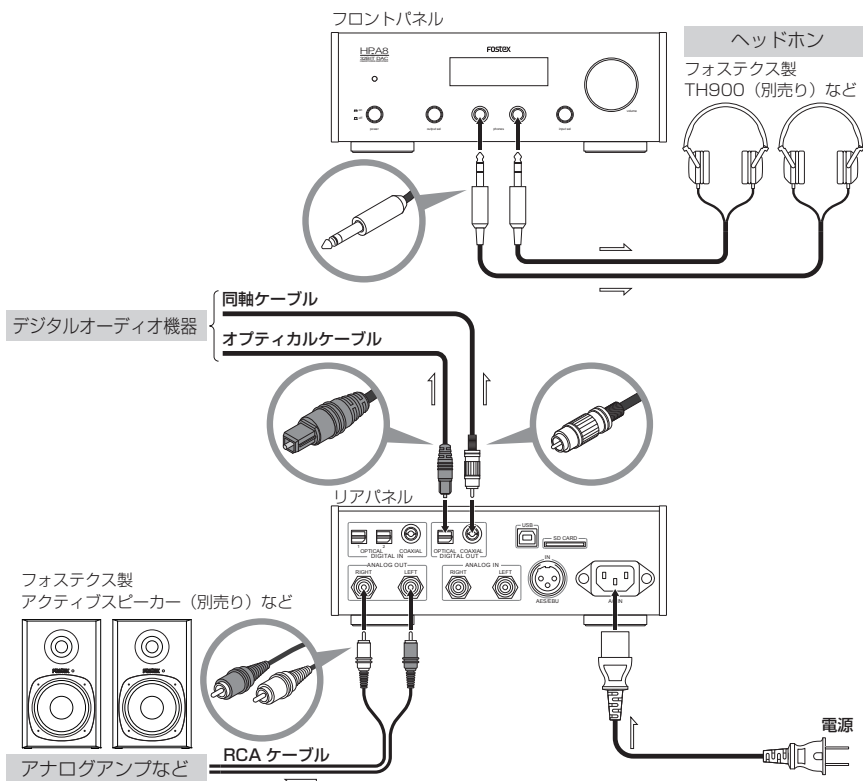
出力側機器を接続する

音声はヘッドホンをフロントパネルのヘッドホン端子 [phones] (1/2) に接続するほか、アンプやアンプ内蔵スピーカーをリアパネルのアナログ出力端子 [ANALOG OUT] に接続して楽しむことができます。出力先を切り換えるには、フロントパネル左側の **output sel** スイッチで選択します。

また、角形オプティカル端子 [OPTICAL] または同軸端子 [COAXIAL] にデジタルオーディオ機器を接続して、S/PDIF フォーマットの信号を出力させることもできます。

●ご注意

- 全ての接続が完了するまで、電源コードは接続しないでください。
- [DIGITAL OUT] 端子からは、「OUTPUT SEL」設定(⇒ 11、13 ページ)に関わらず、常に信号が出力されます。ただし、入力ソースに [ANALOG IN] (「RCA」) を選択している場合、または入力が DSD 信号の場合には出力されません。



■ 電源コードの接続

全ての接続が終了したら、電源コードを接続します。

外部オーディオ機器を聴く

本機に接続した外部オーディオ機器の音を、ヘッドホン出力またはアナログ出力で聴きます。

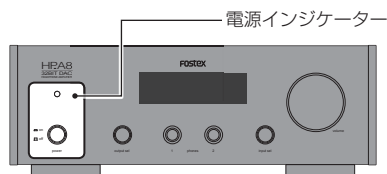
操作する前に、お聴きになる機器を接続してください。(⇒ 9 ページ)

■ 外部機器を聴く

1 電源を入れる

power スイッチを押し込みます。

電源が入っている間は、電源インジケータが赤く点灯します。

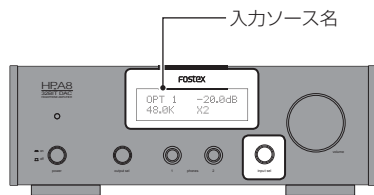


ご注意

- ・アンプに接続している場合は、電源を入れる前にアンプのボリュームを最小にしてください。

2 音源を選ぶ

本体の **input sel** つまみを回すか、リモコンの **INPUT SEL** キーを押して、入力ソースを選びます。



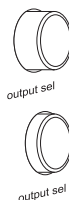
- ・「AES/EBU」: [AES/EBU] に接続した機器
- ・「USB」: [USB] に接続したパソコン
- ・「RCA」: [ANALOG IN] に接続した機器
- ・「SD」: 挿入した SD カード (⇒ 12 ページ)
- ・「COX」: [COAXIAL] に接続した機器
- ・「OPT1」: [OPTICAL 1] に接続した機器
- ・「OPT2」: [OPTICAL 2] に接続した機器

3 出力先を選ぶ

ヘッドホンで聴くか、アナログ出力で聴くかを選びます。



- ・ヘッドホンで聴く場合：
output sel スイッチを押し込まない
- ・アナログ出力で聴く場合：
output sel スイッチを押し込む



4 音量を調節する

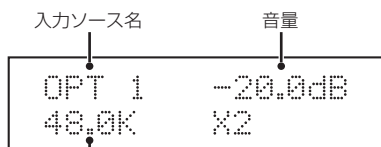
本体の **volume** つまみを回すか、リモコンの **+/-** キーを押して、音量を調節します。



ご注意

- ・「DIRECT」を「ON」に設定すると、アナログ出力の音量は調節できません。
- ・音源の選択動作は「INPUT SEL MODE」設定で変更できます (⇒ 16 ページ)。

<再生中の画面>



サンプリング周波数 (Fs)

SD カードのファイルを聴く

DSF ファイル、WAV ファイル、AIFF ファイルを聴くことができます。

再生可能なファイル

ご注意

- 使用するカードは FAT32 でフォーマットしてください。
- カード上に作成できるフォルダーは最大 15 個です。
- 各フォルダーにコピーできる再生ファイルは最大 30 個です。
- フォルダー名は半角英数字 50 文字以内、ファイル名は半角英数字 70 文字以内にしてください。なお、全角文字は「□」で表示されます。

DSF ファイル (拡張子: .dsf)

フォーマット: 2.8 MHz

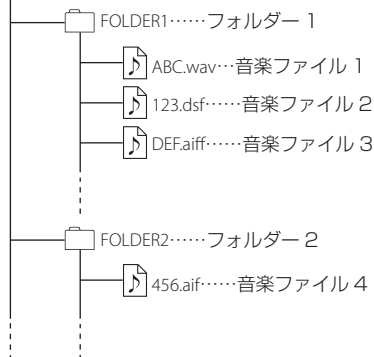
WAV ファイル (拡張子: .wav)、

AIFF ファイル (拡張子: .aiff)

- 対応サンプリング周波数: 44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz
- 対応ビットレート: 16 Bit、24 Bit、32 Bit
- 対応フォーマット: リニア PCM

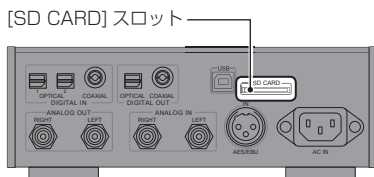
SD カード内部のフォルダー構成例

SD (root)



1 SD カードを入れる

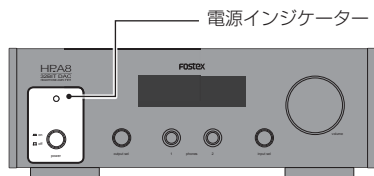
ラベル面を上にして、SD (SDHC) カードをリアパネルの [SD CARD] スロットに入れます。



2 電源を入れる

power スwitch を押し込みます。

電源が入っている間は、電源インジケータが赤く点灯します。

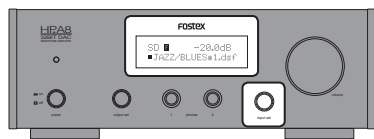


ご注意

- アンプに接続している場合は、電源を入れる前にアンプのボリュームを最小にしてください。

3 音源を選ぶ

本体の **input sel** つまみを回すか、リモコンの **INPUT SEL** キーを押して、**[SD]** を選びます。



4 出力先を選ぶ

ヘッドホンで聴くか、アナログ出力で聴くかを選びます。



- ・ヘッドホンで聴く場合：
output sel スイッチを押し
込まない



- ・アナログ出力で聴く場合：
output sel スイッチを押し
込む



5 音量を調節する

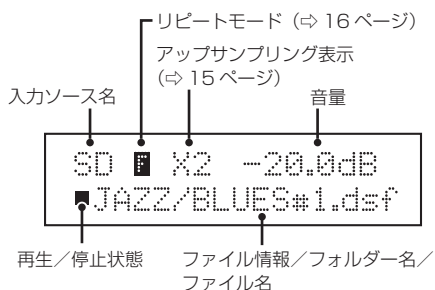
本体の **volume** つまみを回すか、リモコンの **+ / -** キーを押して、音量を調節します。



ご注意

- ・「DIRECT」を「ON」に設定すると、アナログ出力の音量は調節できません。

<再生中の画面>



■ SD カードを取り出す

SD カードは下記の手順に従い、マウントを解除してから取り出してください。マウントを解除せずに取り出すと、データが破損する恐れがあります。

1 再生を停止する

リモコン **■** キーを押して、再生を停止します。

2 リモコンの **○** キーを押す

SD (SDHC) カードのマウントが解除され、「EJECT」が表示されます。

3 カードをカチッと音がするまで軽く押し込む

カードが外側に少し飛び出します。

4 飛び出した部分をつまみ、まっすぐ引き抜く

■ リモコンでの操作

リモコンを使って、各種操作を行うことができます。

▶ : 現在のファイルを再生

■ : 再生停止

○ : カードのマウント解除

△ : 前のフォルダー

▽ : 次のフォルダー

< : 前のファイル

> : 次のファイル

ご注意

- ・リビート再生の範囲を、「SD REPEAT MODE」設定で変更することができます (⇒ 16 ページ)。
- ・SD カードを再生中にメニュー画面で設定を変更した場合、再生を停止した時点で変更が記録されます。また、「IN/VOL MEM」で音量を記録するよう設定した場合も、再生を停止した時点で音量が記録されます。

設定を変更する

使用環境に合わせ、設定を変更することができます。

- 1 本体の **input sel** スイッチを長押しするか、リモコンの **MENU** キーを押す

→ AMP GAIN
0dB

メニュー画面が表示されます。

- 2 本体の **input sel** つまみを回すか、リモコンの **</>** キーを押して、設定する項目を選ぶ

→ UP SAMPLING
X1

1 行目の「→」は、項目選択中を示します。

- 3 本体の **input sel** スイッチを押すか、リモコンの **○** キーを押して、項目を決定する

UP SAMPLING
→ X1

2 行目の「→」は、設定値選択中を示します。

- 4 本体の **input sel** つまみを回すか、リモコンの **</>** キーを押して、設定値を選ぶ

UP SAMPLING
→ X2

- 5 本体の **input sel** スイッチを押すか、リモコンの **○** キーを押して、設定値を決定する

→ UP SAMPLING
X2

- 6 本体の **input sel** スイッチを長押しするか、リモコンの **MENU** キーを押す

メニュー画面を終了し、通常画面に戻ります。

設定項目一覧

設定項目	設定値
「AMP GAIN」 お使いのヘッドホンの感度に応じて、ゲインを設定します。	初期設定：「0 dB」 「0 dB」～「20 dB」（0.5 dB ステップ）

設定項目	設定値
「UP SAMPLING」 本機でアップサンプリングを行う場合に設定します。 ※最大 192 kHz までアップサンプリングが可能です。 また、DSD 信号はアップサンプリングされません。	初期設定：「× 1」 「× 1」、「× 2」、「× 4」
「DIGITAL FILTER」 デジタルフィルターを選択します。	初期設定：「SHARP ROL-OFF」 「SHARP ROL-OFF」 従来からのデジタルフィルター 「MINIMUM DELAY」 旭化成エレクトロニクス（AKM）が開発した、ブリエコーがなく、より生音に近いフィルター
「MSCK SEL」 DAC のマスタークロックを選択します。 ※入力ソースが「USB」または「SD」の場合は、本設定に関わらず内部クロックが使用されます。	初期設定：「DIR」 「DIR」 外部デジタル音源のクロックを使用 「XTAL」 本機内部の高精度 TCXO クロックを使用
「DIRECT」 [ANALOG OUT] 端子に送る信号に対し、 volume を経由させるかどうかを設定します。 ※ヘッドホン音量は本設定に関わらず常に volume を経由します。	初期設定：「OFF」 「OFF」 volume を経由する（ volume で音量を調整できます。） 「ON」 volume を経由しない（ volume で音量を調整できません。）
「IN/VOL MEM」 前回使用時の入力ソースと音量を記録するかどうかを設定します。	初期設定：「DISABLE」 「DISABLE」 記録しません。 「INPUT」 電源を入れると、自動的に前回の入力ソースに切り替わります。音量は MUTE に設定されます。 「VOLUME」 電源を入れると、自動的に前回の音量に切り替わります。入力ソースは「COX」に設定されます。 「INPUT+VOLUME」 電源を入れると、自動的に前回の入力ソース、音量に切り替わります。

設定項目	設定値
「USB MUTE SEL」 入力ソースが「USB」のとき、曲間でクロスフェード（音量を下げる）処理を行うかどうかを設定します。	初期設定：「OFF」 「OFF」 USB からの信号をそのまま再生します。曲間で「ブチッ」という雑音を生じる場合があります。 「ON」 曲の終端と冒頭でクロスフェード処理を行います。ライブ盤など、音声が続で記録されている音源では、一瞬音声途切れたように聴こえる場合があります。
「INPUT SEL MODE」 本体の input sel スイッチとリモコンの INPUT SEL キーの動作を変更します。	初期設定：「INCREMENT」 「INCREMENT」 本体の input sel を回すか、リモコンの INPUT SEL キーを押すたびに入力ソースが切り替わりません。 「DIRECT SELECT」 表示を切り替えた後、本体では input sel スイッチ、リモコンでは○キーを押すまでソースが切り替わりません。不要なソースを経由しないので、素早く切り換えできます。
「SD REPEAT MODE」 カード内の曲の再生方法を選択します。	初期設定：「FOLDER」 「FOLDER」 選んだフォルダー内をリピート（画面に「F」を表示） 「ALL」 カード全体をリピート（画面に「A」を表示） 「SINGLE」 現在の曲をリピート（画面に「1」を表示）
「LCD ON/OFF」 ディスプレイの表示状態を設定します。	初期設定：「ON」 「ON」 ：常時点灯 「OFF」 ：操作後約 8 秒間点灯
「AUTO POWER OFF」	初期設定：「ON」 本設定は海外仕向け版のみ有効です。 日本国内版では動作しません。
「SYSTEM INFO」 現在のバージョンを確認します。	初期設定：「VerX.XXX」 「VerX.XXX」 現在のバージョンです。 「VERSION UP」 本機のバージョンアップを実行します（⇒ 18 ページ）。 「RESET」 本機の設定を工場出荷時に戻します（⇒ 17 ページ）。

困ったときは

お客様からご質問いただくトラブル内容と、その解決方法について、特に多いものをまとめました。

現象	対処
音が出ない	• 機器の接続を確認する (⇒ 9 ページ)。 • 入力ソースを確認する (⇒ 11 ページ)。 • 音声の出力先を確認する (⇒ 11 ページ)。
Windows パソコンで認識できない	• 弊社 Web サイトなどからドライバーを入手し、インストールしてください。
SD カードが再生できない	• 転送が間に合わず、ファイルが再生できない場合があります。SDHC Class 6 以上のカードを使用してください。 • すべてのカードの動作を保証するものではありません。別のカードをお試しください。また、SDXC カードには対応していません。

■ 本機をリセットする

本機をリセットし、工場出荷状態に戻すことができます。動作がおかしい場合などにお試しください。

1 メニュー画面の「SYSTEM INFO」で、「RESET」を選ぶ

設定項目が全て工場出荷状態に戻ります。

■ 本機をバージョンアップする

不具合を解消し、よりよい音楽環境を提供するため、弊社ではバージョンアップファイルを提供する場合があります。下記の手順に従ってバージョンアップを行ってください。

1 アップデートファイルを入手して、SD (SDHC) カードに保存する

ファイルはルートに保存します。

🔔 ご注意

- ・使用するカードはFAT32でフォーマットしてください。
- ・カード上にはアップデートファイル以外はコピーしないでください。

2 カードをスロットに入れる

3 電源を入れ、入力ソースを「COX」にする

4 本体の input sel スイッチを長押しするか、リモコンの MENU キーを押して、メニュー画面を表示する

→ AMP GAIN
0dB

5 メニュー画面で、「SYSTEM INFO」設定を選ぶ

SYSTEM INFO
→ Ver1.00

現在のバージョンを確認できます。

6 「VERSION UP」を選ぶ

SYSTEM INFO
→ VERSION UP

7 「VERSION UP」を決定する

バージョンアップが開始されます。

SD DATA CHECK

VERSION UP START
DO NOT POWER OFF

UPDATING NOW
DO NOT POWER OFF

VER UP COMPLETED
POWER OFF

バージョンアップ完了まで、30 秒程度かかります。「VER UP COMPLETED/POWER OFF」または「VERSION UP END/POWER OFF」が表示されるまで決して電源を切らないでください。

8 本機の電源を切る

これでバージョンアップは終了です。

🔔 ご注意

- ・メニュー画面での操作については、14ページをご覧ください。
- ・バージョンアップ後は MENU の設定がリセットされます。

主な仕様

<入力>

USB 端子	
コネクタ	B タイプ (標準)
量子化、サンプリング周波数	16/24/32 bit、44.1 kHz/48 kHz/88.2 kHz/96 kHz/176.4 kHz/192 kHz、DSD 2.8 MHz (DoP/ASIO)
インターフェース	USB High Speed
DIGITAL INPUT-OPTICAL (1, 2) 端子	
コネクタ	角形オプティカル
フォーマット	S/P DIF
量子化、サンプリング周波数	16/24 bit、44.1 kHz/48 kHz/88.2 kHz/96 kHz/176.4 kHz/192 kHz
DIGITAL INPUT-COAXIAL 端子	
コネクタ	RCA ピンジャック
フォーマット	S/P DIF
量子化、サンプリング周波数	16/24 bit、44.1 kHz/48 kHz/88.2 kHz/96 kHz/176.4 kHz/192 kHz
DIGITAL INPUT-AES/EBU 端子	
コネクタ	XLR-3-31 タイプ (2 番ホット)
フォーマット	AES/EBU
量子化、サンプリング周波数	16/24 bit、44.1 kHz/48 kHz/88.2 kHz/96 kHz/176.4 kHz/192 kHz
ANALOG INPUT (L, R) 端子	
コネクタ	RCA ピンジャック
SD カード	
カード	SDHC
ファイルシステム	FAT32
フォーマット	DSF/WAV/AIFF
量子化、サンプリング周波数	16/24/32 bit、44.1 kHz/48 kHz/88.2 kHz/96 kHz、DSD 2.8 MHz

<出力>

PHONES (1, 2) 端子	
コネクタ	ステレオ標準ジャック
最大出力	700 mW (32 Ω 負荷)
適合負荷インピーダンス	16 Ω - 600 Ω
THD	0.002% 以下 (at 1 kHz、32 Ω 負荷、1 Vrms 出力時)
周波数特性	10 Hz - 80 kHz ± 3 dB
ANALOG OUTPUT (L, R) 端子	
コネクタ	RCA ピンジャック
適合負荷インピーダンス	10 kΩ 以上
THD	0.002% 以下
周波数特性	10 Hz - 80 kHz ± 3 dB (192 kHz 使用時)
DIGITAL OUTPUT-OPTICAL 端子	
コネクタ	角形オプティカル
フォーマット	S/P DIF
量子化、サンプリング周波数	16/24 bit、44.1 kHz/48 kHz/88.2 kHz/96 kHz/176.4 kHz/192 kHz
DIGITAL OUTPUT-COAXIAL 端子	
コネクタ	RCA ピンジャック
フォーマット	S/P DIF
量子化、サンプリング周波数	16/24 bit、44.1 kHz/48 kHz/88.2 kHz/96 kHz/176.4 kHz/192 kHz

<一般>

付属品	リモコン (x 1)、電源コード (x 1)、取扱説明書 (x 1) *1、注意警告文 (x 1) * 1 : バージョンアップでメニュー等が追加された場合にはバージョン毎の追加版を発行いたします。
外形寸法	213 (W) x 78 (H、足含む) x 315 (D、突起物含む) mm
本体質量	約 3.8 kg
電源	AC100 V
消費電力	24 W

※本製品は欧州 RoHS 指令に対応しております。

アフターサービスについて

- この説明書裏には、保証書が印刷されています。お買い上げの際に、販売店で所定の事項を記入してお渡しします。記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年です。期間中は保証書の規定に基づいて、当社サービス部門が修理いたします。詳細については、説明書裏に印刷されている「無償修理規定」をお読みください。
- 保証期間を過ぎてしまった場合、または保証書を紛失した場合の修理については、お買い上げの販売店、または当社営業窓口 / サービス部門へご相談ください。
- 保証期間を過ぎてしまった場合でも、修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料修理いたします。

- この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
- 当社営業窓口、およびサービス部門の連絡先は、以下のようになっています。お気軽にご相談ください。

国内営業窓口

☎ 042-545-6111, FAX. 042-546-6067
 土日・祝日および当社指定休日を除く
 AM 10:00~12:00, PM 1:00~5:00
 サービス部門

☎ 042-546-3151, FAX. 042-546-3198
 土日・祝日および当社指定休日を除く
 AM 10:00~12:00, PM 1:00~5:00

無償修理規定について

- 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、
 - (1) 製品と保証書をご持参の上、本製品の取扱代理店、または弊社サービス部門へ修理をご依頼ください。
 - (2) 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- ご贈答品などで所定事項の記入がない場合、電源周波数の異なる地域へのご転居の場合には、弊社サービス部門へご相談ください。
- つぎの場合には、保証期間内でも有料修理となります。
 - (1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
 - (3) 火災・地震・水害・落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷。

- (5) 異常磨耗、異常損傷を除き、自然消耗と見なされた消耗部品による故障および損傷。
 - (6) 特殊業務、または特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷。
 - (7) 電源周波数の変更、およびメンテナンス。
 - (8) 保証書のご提示がない場合。
 - (9) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、取り扱い店（印）の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
5. 保証書は、日本国内のみにおいて有効です。
 This guarantee is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしません。紛失しないよう大切に保管してください。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、本製品の取り扱い店、または弊社サービス部門へお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、前述の「アフターサービスについて」をご覧ください。

保証書

このたびフォステクス製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。厳格な検査を経てお手元にお届けしておりますが、お客様の正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証書記載内容により無償で修理いたします。本書をご提示の上、取扱販売店または当社営業窓口へ修理をご依頼ください。

保証期間 1 年	
機種名 および 型番	HP-A8
機番	

フォステクス カンパニー
 ☎ 196-0024 東京都昭島市宮沢町 512
 ☎ 042-545-6111 (代)



・ご販売店様へのお願い 必ず太枠内の所定事項を記入捺印の上、お客様にお渡しください。
 ・お客様へのお願い 保証期間内に無料修理を受ける場合、太枠内の記載がないときには、「領収書」または「納品書」などいっしょに本書を提出してください。

Fostex

ご住所		〒	
ご氏名		☎	
お買い上げ日		平成 年 月 日	
販売店	店名	住所	社印
店	電話	☎	